

令和2年度の森林環境譲与税の使途について

南国市農林水産課

1 森林環境譲与税の活用の効果

(1) 意向調査及び森林境界明確化事業について

意向調査地区の選定、準備を行い、来年度実施予定の意向調査へ繋がった。また、林業事業者との連携により55haの森林境界明確化事業を実施し、今後の間伐等の森林整備への準備が整った。

(2) 間伐等実施事業の上乗せ補助

新型コロナウイルス感染拡大の影響により森林所有者や林業事業者が木材生産等を手控えるところ、事業者負担を軽減する支援を行ったことで、計画通り間伐等が実施され、森林の有する公益的機能の維持に繋げることができた。

(3) その他の取り組み

地域材の普及啓発を図るため、市の建設する公民館の機能を備えた文化ホールへ、県産材（主に市有林の間伐材）を活用したイス・机等の木製家具導入の検討を行った。

2 森林環境譲与税の使途の内容

(1) 歳入

単位：千円

区分	金額
森林環境譲与税	13,626
運用益	0
計	13,626

(2) 歳出（使途内訳）

単位：千円

事業名	事業費		事業内容	事業実績	
	総額	財源内訳			
		R2森林環境譲与税			他の財源
森林環境整備事業（報酬、職員手当等）	1,984	1,984	意向調査予定地区（111ha）の所有者や相続人調査準備 林地台帳システムに係る情報整理、その他森林経営管理制度に関する業務 境界明確化事業の委託費 新型コロナウイルス対策として、既存の市単独補助事業の支援拡大（除伐、保育間伐並びに作業道等の整備に要する経費に係る自己負担分に対する補助区分の新設） 次年度以降の森林整備等に必要な財源として基金への積み立て	会計年度任用職員（1名）の件費	
森林環境整備事業（委託料）	6,863	6,863		上倉地区境界明確化事業 55ha	
林業振興育成補助金等事業費（間伐等実施事業費補助金）	2,215	2,215		間伐19.01ha 除伐0.88ha 作業道開設3,444m	
森林環境譲与税基金積立金	2,564	2,564			
計	13,626	13,626			